熊本県州立モンタナ大学高校生派遣事業（担当課：義務教育課英語・日本語教育推進室）

熊本県と米国モンタナ州は、今年で姉妹提携４２年目を迎えます。本事業は熊本県とモンタナ州との姉妹提携３０周年を機に、平成２５年度（２０１３年度）から始まり、今年度で１２年目を迎えました。本研修では、県内の高校生１８名が、４技能の英語運用能力向上を目的として、現地の語学学校教員による集中的な語学研修を受講しました。またモンタナ州での学びや体験を通して環境問題と向き合い、日本や熊本の環境問題に対し、グローバルな視点から学びを深めました。研修報告会等では、研修成果として、派遣者一人一人が、熊本県で実施可能なSDGsについて、オリジナリティ溢れる提案を英語で行いました。

研修期間　令和６年７月２０日～令和６年８月４日

研修の様子

モンタナ大学で英語漬け

モンタナの農業について質問

現地の方との文化交流

モンタナ大学生との交流

研修を終え、修了証を胸に！

研修の成果を英語で発表

助成対象者の声

●この事業に参加して、将来留学したいと思うようになりました。
（９４%以上の参加者が回答）
●モンタナでは環境に配慮した取組が進んでいて、熊本でも同じような取組を進めていくべきだと感じました。
●現地の人と英語でやりとりをする経験を積み重ねることで、伝わった喜びや英語を学ぶ楽しさを実感しました。
●グローバルな視点で自分の将来について考えられるようになりました。
●バスが電気で走り、運賃が無料だったことに驚きました。消費税も無料で驚きました。
●リスニングが帰国前より断然得意になったため、積極的にALTの先生と話したいです。

州立モンタナ大学

現地での活動の様子（生徒作成動画）

A班　B班　C班